

埼玉県立小児医療センター一般廃棄物処理業務 特記仕様書

この仕様書は、一般廃棄物処理業務の概要を示すものであって、ここに記載されていない事項については、現場の状況に応じて発注者・受注者で協議し決定するものとする。

1 業務場所

埼玉県さいたま市中央区新都心1番地2

埼玉県立小児医療センター

2 業務内容

- (1) 受注者は、発注者の指定した複数の一般廃棄物保管庫から受注者の運搬車両（空車）にて収集し、ごみ処理施設に運搬するものとする。収集運搬車の高さは2.8m以下とする。
- (2) 一般廃棄物の種類・予定数量及び運搬回数は下表のとおりとする。
- (3) 受注者は、運搬したごみを計量するものとする。
- (4) 受注者は、収集運搬にあたり飛散流出の無いよう注意するとともに、生ごみの収集を行った後、廃棄物保管庫を洗い流す等清潔を保持するものとする。
- (5) 受注者は回収の頻度及び時間等について、発注者から指示があった場合はこれに従わなければならない。

一般廃棄物の種類	予定数量	標準の収集 運搬回数
可燃物	196,040 kg	毎週月～土曜日 (月26回・元日を除く)
ダンボール	38,130 kg	毎週月・木曜日 (月8回)
エコペーパー・雑誌	19,000 kg	毎週火・金曜日 (月8回)
空缶等 (金属類)	390 kg	毎週水曜日 (月4回)
空瓶等 (ビン・陶器類)	780 kg	
ペットボトル等	5,640 kg	
合計	259,980 kg	年間570回

3 請求方法

受注者は毎月の収集運搬業務完了後、当該月の計量伝票書類等を添えて業務完了通知書を提出し、検査を合格したのち請求書を提出するものとする。

4 業務責任

受注者は、業務の履行にあたり、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関係法令を遵守し、それらに対する一切の責任を負わなければならない。

5 状況報告

発注者は、必要があると認められるときは、受注者に対し、処理の状況について報告を求めることができる。

6 許可証の写しの提出

受注者は、契約書作成の際、本業務に関する許可証の写しを発注者に提出するものとする。

7 秘密の保持

発注者、受注者は、この契約に関して知りえた秘密を他人に漏らしてはならない。

8 負担区分

発注者、受注者の負担区分については次のとおりとする。

受注者は、作業上必要と思われる場合は、廃棄物を一時保管する容器を受注者の負担で保管庫内に設置する。生ごみの収集を行った後、廃棄物保管庫の清掃に使用する水やホースは発注者の負担とする。